

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年9月5日】第134号



新学期です

農大稲花小は、9月1日(木)に2学期が始まりました。元気に登校してきた子どもたちの顔を見て、教職員の誰もがほっとしたような、うれしいような気持ちでいっぱいになりました。また、校長による校内テレビを通した始業式では、新しい気持ちで新学期をスタートしてほしいこと、お互いの気持ちを考えながら友だちと仲良く一緒に学んでほしいこと、4年生には編入してきた新しいお友だちがいること、さらに、3年生や4年生には何のために勉強するのか、何のために学校に来るのかを考え、自覚しながら学校生活を送るようにと話をしました。本校では36人を1学級とし、学級の友だちと学び合うよう指導しています。子どもたちのそれぞれに様々な個性があることを理解しつつ、同時に、子どもたちには友だちと共に学ぶということを意識しながらふるまうよう期待しています。

始業式の後、朝の会が始まったばかりの各教室の様子を回ってみたところ、どのクラスも元気な子どもたちと、子どもたちの話をしっかり聞こうとする担任の様子を見ることができ、安心しました。また、担任団からの報告によると、多くの子どもたちは1学期よりもさらに成長した様子で学習に取り組んでいたとのことでした。新学期を迎えるために、ご家庭でも子どもたちの心や体を整えておいていただいたからなのでしょう。教職員や保護者に注意されるからではなく、自ら学び、自ら正しくふるまう子どもになれるよう、これからも適切な見守りを続けてまいります。

オーストラリア視察

8月の最終週、校長と学務部主任は、学校法人東京農業大学に属する中学校・高等学校の3校長とそれらを統括する統括校長とともに、オーストラリアクィーンズランド州教育局との連携により、クィーンズランド州の8校を視察しました。そのうち3校は小学校もある学校です。来春に予定している現4年生の短期留学の準備をしながらの視察となりました。

視察した学校は、菜園やキッチンがあったり、牧場があったり、日本語が第二外国語になっていたりと、農大稲花小の子どもたちの短期留学にぴったりの小学校ばかりです。中高ではダンス、3Dプリンターや木工、スポーツなどの活動も盛んな様子がうかがわれました。また、学校によってはマウンテンバイクが盛んだったり、eスポーツのコースがあってゲームセンターかと思うような立派な設備で生徒が練習していたりしました。わが子に国際感覚を身に付けさせたいからと、ホームステイを引き受ける家族がたくさんあるということも聞きました。その中から、クィーンズランド州教育局が設定する様々な基準をクリアした家庭だけが選ばれ、晴れてホストファミリーになれるそうです。

オーストラリアでは、児童を含めてのワクチン接種が進み、マスクを着用している人も見かけません。本校4年生の希望者が短期留学・ホームステイする来春の様子はまだわかりませんが、校長も学務部主任も到着時と帰国前に陰性であることを確認して、無事に出張することができました。これから、オーストラリアクィーンズランド州教育局や関係者との打ち合わせを進め、4年生には案内をしております。

新型コロナウイルス感染症

2020年をはじめから続いている新型コロナウイルス感染症の問題は、中々、収束しません。4月以来、さらにはこの夏休みを含め、本校でも児童や教職員の新規感染報告は続いています。症状は様々で、また、後遺症の有無も様々なようです。2学期も、学級閉鎖などの措置については、文部科学省からの通達や学校医の指導より、適切に判断していきます。

予防の措置をとり注意して生活していても、感染してしまうことは誰にでもあると考えています。しかし、引き続き、感染防止に努め、また、体調に不安があるときは無理に登校しないように慎重な判断をお願いします。検温の報告を含め、健康観察が不十分あるいは不適切である子どもは、校外学習などに参加できないことがあることを、ご承知おきください。

学校説明会

9月に入ると、11月の入学試験に向けて、学校説明会、出願、さらには、事前面接がはじまります。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、志願するご家庭が、本校の様子を直接に知る機会は少なく、心苦しいところです。しかし、学校ホームページなどをご覧いただき、本校の教育理念を十分にご理解の上、受験についてお考えいただくよう願っています。学校説明会では、学校と保護者の信頼関係が大切であることについてもお伝えしています。

また、本校の保護者の皆様は、本校の教育を一番よくご存知です。さらに、在校生は成長の途中とはいえ、本校の教育の果実でもあります。この入学試験の季節に、教職員、保護者、子どもたちが一体となってよりよい農大稲花小を作っていくことを、改めて意識したいと思います。

新学期早々、本校に来客がありました。その時、廊下で来客とすれ違った子どもたちが、本当に自然に、しかも元気よく「こんにちは」と言う声が、校長室からも聞こえました。授業や休み時間だけでなく、登下校を含めたいろいろなシーンで、子どもたちの成長を知ることができます。

創立記念日

2018年(平成30年)9月5日(水)は、農大稲花小が東京都から「学校設置認可書」を受理した日です。これにより、2018年11月に入学試験が行われ、2019年4月に本校の第一期生を迎えることができました。このことから、本校の創立記念日は9月5日と定めています。まだ完成年度を迎えてもない新しい学校である本校ですが、本校設置時からの理念を見失うことなく、教育と運営を進めてまいります。



創立記念日(9月5日)の給食

「たいめし」と「お米で作った稲花ゼリー
(オリジナル)」